

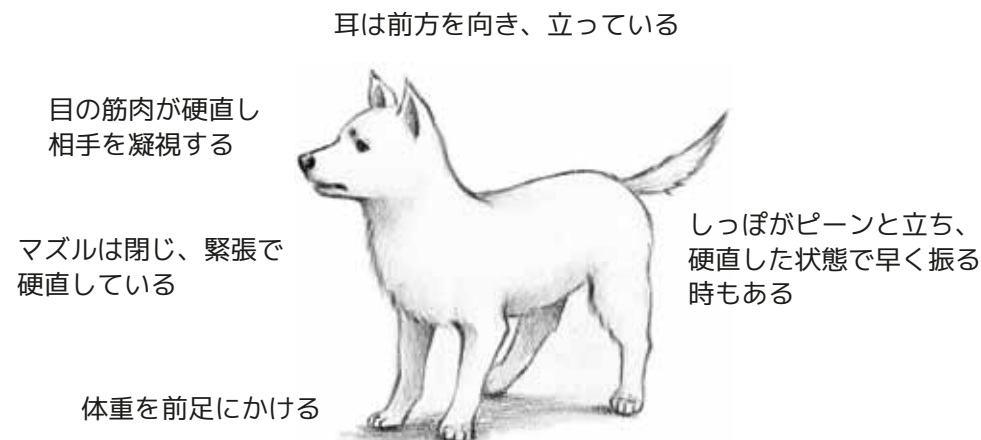
🐾 犬のボディーランゲージを読む

犬は私たち人間のように口を使ってコミュニケーションする事はできませんが、身体を使ってその心理状態を表現します。犬の耳の状態、瞳孔拡張や顔の緊張状態（特にマズルと額）、しっぽの状態、身体の一部への体重のかけ具合などを読む事で、その犬はリラックスしているのか、怖がっているのか、服従的または支配的なのかを読み取る事ができます。犬のボディーランゲージを知ることは、犬の気持ちを理解することです。犬のボディーランゲージを理解すれば、いっそう犬とのコミュニケーションが深まるでしょう！

▼ 自然でリラックスした状態



▼ 興奮した状態



その環境にある「何か」によって刺激された状態の犬。何か喜ばしい事、または物によっての刺激による興奮の場合には、背中毛は立っておらず、しっぽは低めでゆるやかに振られています。マズルの部分はリラックスし、口が少し開いて舌を見せている場合もあります。この姿勢は自分よりランクが下の犬に、自分のランクが上である事を示す為に表現されることもあります。また警戒心を含む場合は口を閉じ、視線は遠方に注意を払い、首を真っすぐ高い姿勢を取ることがあります。

価格
FREE

制作: Dear-Paws URL: www.Dear-Paws.com メール: info@dear-paws.com | イラスト提供: Momoji

本誌に掲載されているイラストレーション、および記事の無断転載、使用を禁じます。この資料を各自印刷し、無料で配布や使用する事は可能です。(2011年7月発行)

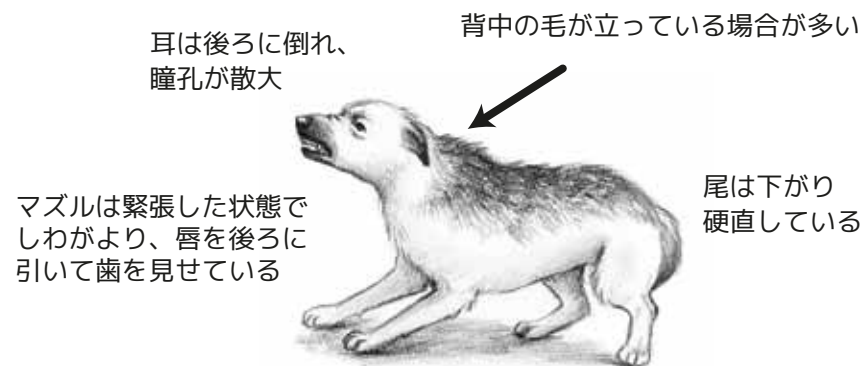
🐾 犬のボディランゲージを読む(続き)

▼ アグレッシブな攻撃モードの状態



この威嚇的な態度は相手をひるませたり、追いやるためか、また自分の持ち物、集団または自身を守る為、必要に迫られた場合は攻撃する際に見られる姿勢です。

▼ 防衛的な攻撃モードの状態



恐怖感がベースであり、「これ以上近づくと攻撃するぞ」と相手に伝えています。相手が引き下がらない場合には自身の身を守る為に噛んだりします。

🐾 犬のボディランゲージを読む(続き)

▼ 降伏または服従状態

目を半分閉じたり、しばかせたりする

耳は後ろに倒れる

口はほとんど閉めて舌先を出したりする



片足をあげる

尾は低くゆっくり揺らす

相手をなだめるようなこの姿勢は、相手の犬や人間の社会的地位が自分よりも高い事を認めたり、相手の攻撃を抑制するための行為です。特に前足を上げる子は服従心が強い性格と言えます。

▼ 完全降伏状態

ひっくり返りお腹を見せる

耳は後ろに折れる

尾を丸め、尿を漏らす時もある



相手を直視せずに頭を少し傾ける

犬がひっくり返りお腹を出すという事は降伏している、またはランクが上の相手や攻撃的な相手をなだめているという事です。また甘えたい時にお腹を見せる子もいます。

価格
FREE

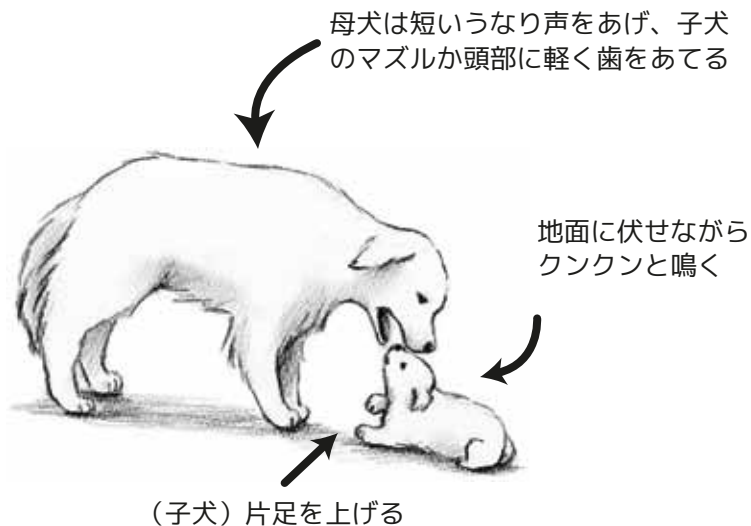
制作: Dear-Paws URL: www.Dear-Paws.com メール: info@dear-paws.com | イラスト提供: Momoji

本誌に掲載されているイラストレーション、および記事の無断転載、使用を禁じます。この資料を各自印刷し、無料で配布や使用する事は可能です。(2011年7月発行)

🐾 犬同士のコミュニケーション

犬同士が出会った時にはお互いのステータスを相手に伝え合います。前足を折る様に上げたり、目をそらしたり、相手の口元を舐る、または前足を低くしておじぎのような格好をするのは服従を表すしぐさです。反対に、マウントしたり、相手の足先を踏もうとしたり、自分の頭を相手の「き甲」（肩の上あたり）に持って行ったりする行為は、優位に立つ犬の行為です。犬同士のコミュニケーションの中にはカーミングシグナルと呼ばれる相手に敵意がないことを示し、争いを避けるためのしぐさがいくつかあり、人が使うことで犬に同様のメッセージを送ることができます。例えば舌で上唇を舐めたり、あくびをしたり、視線をそらしたり、体の側面を見せる行為は相手の犬に敵意がないことを表しリラックスさせる効果もあります。ぜひ犬とのコミュニケーションに取り入れてみてください。

▼ 母犬のしつけ



母犬がしつけとして子犬のマズルを軽く噛むと、子犬は服従体制を見せ母犬とのコミュニケーションをとります。このように犬は子犬の社会化期に母親や群れから多くのボディランゲージを学習します。動物にとって幼少期の社会化がいかに大切かも確認してください。

▼ 遊びに誘う



「遊びのおじぎ」は優勢的と従順なふるまいがミックスされている状態です。相手を遊びに誘う時や求婚に誘う際に見られます。

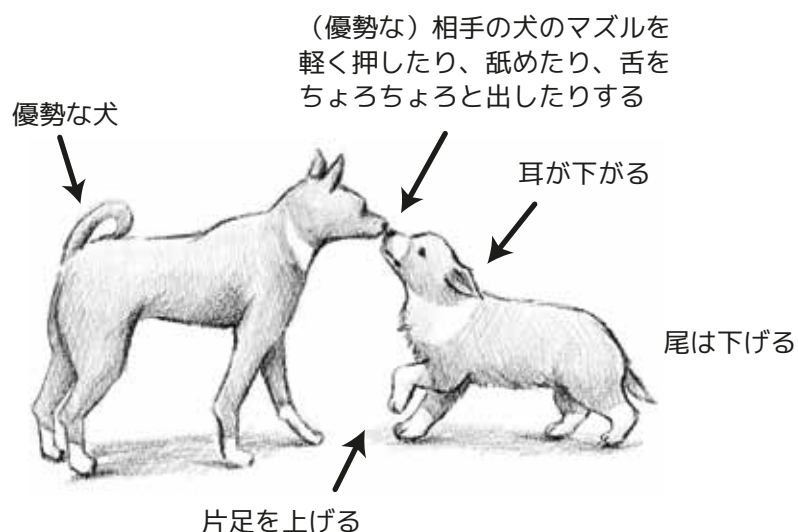
価格
FREE

制作: Dear-Paws URL: www.Dear-Paws.com メール: info@dear-paws.com | イラスト提供: Momoji

本誌に掲載されているイラストレーション、および記事の無断転載、使用を禁じます。この資料を各自印刷し、無料で配布や使用する事は可能です。(2011年7月発行)

🐾 犬同士のコミュニケーション(続き)

▼ 挨拶する時の行動



服従的な犬がマズルで相手の犬(優勢的)のマズルを軽く押し相手をなだめるジェスチャーをします。また優勢な犬ほど相手に覆いかぶさってマウンティングをしたり、前足や顎を使って相手を抑制する行動を見せます。

▼ 挨拶するときの姿勢

服従的な犬の耳は下がっている



お互いのおしり付近を匂うのは相手の状態を知るためです。お尻のにおいからは性別や年齢、健康状態を始め様々な情報を得る事が出来ると言われています。この時、敵意のない犬は体勢をCの形のような曲線にし、体の側面を見せるように相手に近づきにおいをかぎます。優勢な犬の方は耳が前方に立ち、機敏な態度を取ります。

価格
FREE

制作: Dear-Paws URL: www.Dear-Paws.com メール: info@dear-paws.com | イラスト提供: Momoji

本誌に掲載されているイラストレーション、および記事の無断転載、使用を禁じます。この資料を各自印刷し、無料で配布や使用する事は可能です。(2011年7月発行)